



## 医療メモ 本庄市児玉郡医師会広報部

### ～胃がん検診について～

現在、本庄市及び児玉郡の胃がん検診は、ABC検診が施行されています。これは、血液中のピロリ菌抗体と血清ペプシノゲン検査を組み合わせたものです。長所としては、胃がんの高リスクから低リスクの人まで明らかになり、また、血液検査のため簡便で安価であり、一度に多くの対象者を客観的に判定できることです。短所は、胃がんそのものの診断ができないことです。

昨年度より、ピロリ菌抗体価の判定基準が変更されています。以前は、抗体価が10U/ml以上を陽性と判定していましたが、最近の学会報告などにより抗体価が3.0～9.9U/mlを示すこれまで陰性とされていた症例の中に、約10%のピロリ菌現感染者（現在もピロリ菌感染が持続している）が存在することが判明しました。このため、ピロリ菌感染状態にある方を正確に判定するため、判定基準が変更となったのです。

そもそもピロリ菌とは何かということですが、本来、胃内は強い酸性状態にあり、病原細菌は生息していないということがいわれてきました。しかし、1980年代に胃粘膜からピロリ菌が検出され、胃炎、胃潰瘍、十二指腸

潰瘍、そして胃がんの発症に深くかかわっていることがはっきりしてきました。

ではなぜピロリ菌は、強酸性の胃内で生息できるのかということですが、ピロリ菌はウレアーゼという物質をつくり、これが胃内にある尿素と反応し、アンモニアをつくりだします。アンモニアは、アルカリ性なので胃酸と中和して、ピロリ菌の生存を図っているのです。

ではピロリ菌が陽性と判断されたらばどうしたらいいかということですが、前にも述べたように、胃がんの発症にピロリ菌は強くかかわっているため除菌療法が必要となります。除菌療法には数種類の方法があります。うまく除菌に成功すると、胃がん罹患リスクは、2分の1程度に低下することが期待されています。

これまで検診で、A群と判定されていた方でも、B群と判定された方がいると思われれます。これは、今回、ピロリ菌抗体価の判定基準が変更となったためなのです。ABC検診でB群、C群と判定された方は、ピロリ菌の存在診断を行う必要があります。胃がん罹患リスクを減らすためにも、主治医にご相談ください。

## 休日・夜間の急病のときは… 本庄市保健センター ☎2003 北堀 1422-1

●本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所 (本庄市保健センター内 ☎203322) ※診療以外に関するお問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。右記の電話相談をご利用ください。

○平日夜間診療  
診療日 平日の木曜日 診療時間 午後8時～10時  
診療科目 内科系疾患  
○休日診療  
診療日 日曜日・休日・年末年始(12/30～1/3)  
診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、午後7時～10時  
診療科目 内科系疾患  
※健康保険証をご持参ください。

日	診療科目	所在地	電話番号
2月4日(日)	高橋外科整形外科	千代田1丁目	☎26211
2月11日(祝)	昭和産婦人科	駅南1丁目	☎20205
2月12日(休)	高山整形外科	見福2丁目	☎23245
2月18日(日)	はにぼんクリニック	東台4丁目	☎23596
2月25日(日)	辻クリニック	上里町七本木	☎31116
3月4日(日)	寺坂医院	西富田	☎23343

※診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

●困ったときは電話相談を！(相談料無料)  
○ほんじょう健康相談ダイヤル24(24時間相談可)  
☎0120-122-885(通話料無料)  
相談員 看護師・保健師・医師など  
対象 市内在住者  
内容 健康・医療・出産・育児・介護などに関する相談、医療機関情報

○「#7119」埼玉県救急電話相談(大人・小児共通)  
(ダイヤル回線、IP電話、PHSからは☎048-824-4199)  
相談時間 24時間365日  
※この電話相談は医療行為ではなく、電話でのアドバイスにより、相談者の判断の参考としていただくものです。  
▶従来同様、下記の電話番号からも利用できます  
大人の救急電話相談 #7000  
小児救急電話相談 #8000又は☎048-833-7911

★119番は緊急時(火災やけが人など)の受付専門電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、**児玉郡市広域消防本部指令課(☎241119)**でご案内していますのでご利用ください。ただし、診療科目によっては県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

## 予防接種を受けましょう ～感染症の流行を防ぐために～

病気にかからないように、また、重症にならないように、まだ接種していないおさんは予防接種を受けましょう。対象者は無料で受けられます。

※接種期間を過ぎて接種した場合は、全額自己負担になります。

※予約票がお手元ない場合は、母子健康手帳をご持参のうえ、本庄市保健センター又は市民福祉課(アスパアこだま内)の窓口へお越しください。

### ▶二種混合(ジフテリア・破傷風) 予防接種

対象 11歳以上13歳未満(接種期間は、11歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで)

※予約票は、市内小学校を通じて6年生に配布済。

### ▶麻しん・風しん(MR) 予防接種

1期 生後12月から24月に至るまでに1回

2期 小学校就学前の1年間に1回

### 平成29年度の2期

対象 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの人

接種期間 3月31日(土)まで

### ▶日本脳炎予防接種の特例

一時見合わせていましたが、平成22年度以降は新しいワクチンの接種を再開しています。

次の期間に生まれた人は特例の対象となりますので、現在までの接種回数を確認し、不足回数を接種してください。

◎平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人  
接種期間 20歳の誕生日の前日まで

接種回数 1期3回接種、2期9歳以上で1回接種  
※1期の接種後、おおむね5年の間隔を空けて接種してください。

◎平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人  
1期の接種が7歳6か月までに3回完了していない人は9歳以上13歳未満の間に不足した1期(最大3回)を接種することができます。

接種期間 9歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

※市内小学校の4年生(平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ)の人には、学校を通じて日本脳炎2期の予約票を配布済。

▶子宮頸がん予防ワクチン  
現在、接種の積極的な勧奨を一時的に差し控えていますが、定期接種自体は中止しないため、希望者は継続して受けることができます。接種を希望する人は、有効性及び副反応等について十分に理解したうえで、接種を受けてください。

### ★本庄市保健センター ☎2003



## 基礎代謝アップを目指そう

### 「運動と食事で筋肉維持」を開催

☎はにぼんチャレンジ対象事業

健康維持や生活習慣病予防の基本は、適度な運動とバランスのよい食事。筋肉量を増やして代謝アップを目指しましょう。

日時 3月6日(火)

午前9時30分～午後1時(受付9時～)

会場 本庄市保健センター

対象 40歳以上の市内在住者

内容 保健師による運動講座と管理栄養士による講話・調理実習

※今年度、食事に関する講座を受講したことのある人はお断りする場合があります。

定員 20名(先着順) 費用 無料

用意 運動する服装、運動靴、汗拭き用タオル、飲み物、エプロン、三角巾(バンダナ等可)、手拭き用タオル、筆記用具

申込 2月15日(休)から電話又は直接下記へ

★本庄市保健センター ☎2003

## 骨の健康に注目

### ほんぽ食堂「骨骨健康」を開催

☎はにぼんチャレンジ対象事業

バランスのとれた食事は、健康維持や生活習慣病予防の基本ですが、今回はバランスに加えて骨の健康にも注目して一緒に考えてみましょう。

日時・会場

①3月20日(火) アスパアこだま

②3月23日(金) 本庄市保健センター

午前9時30分～正午(受付9時15分～)

対象 20歳以上の市内在住者

内容 管理栄養士による講話と調理実習

※①②は同じ内容です。いずれかの日程を選択申し込みしてください。

定員 20名(先着順) 費用 無料

用意 エプロン、三角巾(バンダナ等可)、手拭き用タオル、筆記用具

申込 2月20日(火)から電話又は直接下記へ

★本庄市保健センター ☎2003